

新設幼稚園の経験について（承前）

東京市竹町小學校附屬幼稚園 鎌 田 し ん

市街の建設と其遊び

二の組の幼児三十餘名と先生二人街の散歩に出かける。「先生今日花電車が通りますよ」急いで松坂屋の前まで行く。丁度上野の方から、花電車が五臺來る、皆大喜びで觀る。

幼稚園へ歸つて來て 僕先生花電車描く」一生懸命に電車を描いて居る。砂型が入つて居た空箱を見つけて電車を作り出す。窓を剪り、車をつけボールはヒゴで造る。色紙やクレイヨンで花電車にする。三臺、四臺、五臺と段々出來た。ハトロロ紙に墨で線路を描き、一生懸命に走らせて遊ぶ。

翌日いろ／＼の空箱やボール紙、キビガラ、手工テープ、色紙、動物鋏等を出して置いた、交通巡查とゴー・ストップが出来る、店舗と住宅が電車の向側に並ぶ、話し合ひのうちに、家の中に入る人と家具、商品、看板等に氣がついた、松坂やは箱を重ねて高い感じを現し多數の窓には、カーテンをしぼり、屋上庭園には草花を植へた。果物や、時計や、せとものや、薬や、魚や、八百やたんすや、玩具や、呉服や、等が出來、道路樹は自然の木及葉、キビガラ、色紙等を用ひた。材料は成るべく豊富にしていろ／＼使用した。空箱、毛糸、手工テープ、粘土、繪具、種子（水瓜、柿、南瓜）

色紙、包装紙、チリメン紙、ガラス紙、糸等、此の遊びは三ヶ月程續いた、どの組の子供達も朝來るときつと見に来る、そして作業を始める、誰でも電車や自動車を動かして遊び、此の遊びによつて、自己の仕事を計畫し、よりよき結果のための協力を學んだ。

動物園製作とその遊び

當園から徒歩三十分で動物園に赴く事が出来る。又省線電車に御徒町から上野まで乗ると路の危険な處も少く幼児達はいろ／＼觀察も出來て大喜びである。日曜、祭日には父母に連れられて動物園に行く機會も多く幼児の動物園に對する興味は一層深く、自由畫、粘土、剪纸、ボール紙、キビガラ等の製作に發表する。

或る日登園する早々先生に粘土をするやう望む、早速粘土の用意をする。五六人集つて象、龜、

犬、山羊、ウサギ等次々面白い様に作り初めた。

「あゝ澤山動物が出來た、動物園のやうだ 先生！ 動物園作らない！」。「作りたいなあ」

幼児の要求から始つた動物園の製作は毎日粘土、ボール紙、木片、キビガラ等の材料によつて製作がつゞく。動物が出來るとそればかりでは動物園を作るといふ製作慾に満足が出來ない。君動物園のお家作らうよ「幼兒自身お家の材料を考へシシ、象、ウサギ、犬、龜、へビ、カンガルー等のお家が出來た、ボール箱をこわして大きな平たい箱を作つた、皆でエナメルを塗り砂を入れる。先生！動物園には道がありますよ」そうだ道がある見物する人の道がありますね「それぢあ初つからだ、道を作らう」と皆で人の通れるやうに並べかへた。大體動物園らしくなつて來た、幼児の喜びは一方ならず興味は増々深く、朝早くから製作にかゝつて居る幼兒の興味が深くなるにつれて製作慾も

あふれるやうに次々と製作が考へられ見物人も、樹木も出來た。

幼兒は完成の喜びに満ち、本當の動物園を見る氣持で見物する。二三日過ぎた日「先生僕昨日も父ちやんと動物園へ行つたら切符を賣る處があつたの」材料を與へると、その製作に興味を持ち、切符賣場、小父さん、切符と出來上つた、それからは切符を賣る人、受付の人をきめ、後の幼兒は見物人になつて、切符を買つて受付に渡し、動物園の中に入る動物園遊びが初つた。

大きな動く電車で電車遊びが初つた頃何日の間にやら電車遊びと聯絡がとれ、幼兒は竹町から松坂や前まで電車に乗り松坂や前から歩いて動物園に行くといふ様にして毎日遊んで居る。

呉服や遊び

此の遊びは當園保姆圓山マル子氏の計畫指導に

よるものである。

冬は雨や風、雪等の爲、屋外遊びの機會が少く時々も天氣のよい時には幼兒は園外に出る事を大變に喜ぶ尙度々も天氣のよい時にはすぐ隣の公園や、近所の商店の並んで居る佐竹通りに出掛けて果物屋、玩具や呉服や靴や等を見て歸り、觀察の發表をする。

商店街に住んで居る子供達なのでその發表も果物、玩具、呉服や、靴や、八百や洋服や等の發表の方が進んで居る。

一月になつてから一年保育の子供の中にクレイヨン畫や、墨繪に模様や圖案的のものが現れて來た、これを見逃しては大變とその傾向を延す目的のもとに呉服や遊びを初める事にした。毎日朝から製作は續けられ、人形の着物、帯、布團、エプロンと次から次と出來て來ました。中にはも母さんの着物の柄や帯、半襟等の柄を見て來て描く幼兒

もある。

材料は半紙、カベ紙、包装紙、ハトロシ紙、唐紙へ墨又はクレイヨンで描き泥繪具（染料やで買ふと安いものです）や水彩繪具で色彩する、その時燦明バン水でとくと色が鮮になる。クレイヨンも用ふ。

自然物も使ふ。蓮の切り口、クルミの半分に割つたものゝ木の葉、銀杏、紅葉、柿、櫻、菊等に繪の具を筆でつけて紙に押す、この時糊を少量入れると、散らなくていい感じが出る。芋版も子供が喜ぶ。屑芋を輪切りにして、子供に模様を畫かせる。木彫の丸刀又は古いペン先の反対の方を砥石でといでペン軸にさしてほる。

製作品が澤山出來ると幼児が店やを作つて賣買をする機運に向ふ。呉服包も出來た、（反物紙の古いのを使ふ）大箱木で店も出來、ボール紙で看板も出來る。

番頭さんを三人づゝ一日交代にして定める、後の子供は二軒のお家に別れ、そのお家は幼児達で定める。お母さん、お父さん、姉さん、赤ちゃん、女中さんと定め、飯事をしながらおよばれの時に反物を買つて持つて行く、買ったものは人形遊びの時使ふ、そのやうにしているゝ實生活が展開される。お金はお母さんが持つて居て頂く事にした、本當のお母さんに頂くつもりで遊んで居る。追記 ながゝとまわらぬ筆で書きつらぬお恥かしい存じます。もつとゝ書きたい事も御座います。が禿筆で思ふにまかせませぬ、どうぞ皆々様からいろゝお教へ頂きたく存じます。

今夏東京女子高等師範學校で開かれる

「遊戯講習會」本會宛申込

「文部省主催の保育講習會」は各地方長官に願出のこと

十五日の締切りに後れぬよう手續をなさいませ